

入選

(大阪府箕面市)

大阪府立箕面東高等学校 三年

千葉 優奈

第2回 KYOTO KAKIMOTO 恋文大賞®

手紙(文章)部門 <高校生の部>

お父さんへ。 って言っても血のつながりをもたないお父さん。

貴方に出会ったのは、私が小学4年生の時だったと記憶しています。

名前も知らない貴方が、家に居た。

お母さんは、仕事。私は、人見知りの中感じた不安感。不信感。

多分、それを感じとったのか、貴方は、仲良くしようと思ったのか、

色々してくれたのを覚えています。

でも、私は貴方に心をひらけなかった。

ひらくことができなかった。好きになれなかった。

出会って、すぐに『再婚する』と言われて、正直嫌だった。

いきなり来て、いきなり再婚と言われても、

小学生の物心ついていて私には、貴方を認めることが、できなかった。

再婚して、すぐ貴方の転勤が決まった。

徳島・香川・大阪。

人見知りひどくなり、問題ばかりを起こすようになっていた。

出会ってから、8年かな？ 貴方は、宮城県の仙台に転勤することになった。

転勤して半年経った3月。

何日か大阪に戻りそして帰った2日後、地震があった。

私はバイト前ニュースで一番に知った。連絡はつかなかった。

心配は、増すばかりだった。この時、いつの間にか、家族として心配していた。

目の前で人の死をいくつも見た貴方は、

心を閉ざし、自分を責めたりしていたのを知っています。

共感は、できないかもしれない。

亡くなった人には本当に申し訳ない。でも、貴方が生きてて、良かった。

貴方は、家族の支えでもある。

私は、貴方がお父さんで良かった。

お父さんが好きだと、感じる事ができました。